

グリクラジド錠 20mg 「NP」 グリクラジド錠 40mg 「NP」

【この薬は？】

販売名	グリクラジド錠 20mg 「NP」 GLICLAZIDE TABLETS	グリクラジド錠 40mg 「NP」 GLICLAZIDE TABLETS
一般名	グリクラジド Gliclazide	
含有量 (1錠中)	20mg	40mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経口血糖降下剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、すい臓に作用しインスリン分泌を促進して、血糖（血液中の糖分）を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

インスリン非依存型糖尿病（成人型糖尿病）

（ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る。）

- ・この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重

要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬により、重篤で長く続く低血糖症（お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下など）になることがあります。患者の皆様や家族の方は、【この薬を使う前に、確認すべきことは？】、【この薬の使い方は？】および【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・重いケトosis状態（吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、インスリン依存型糖尿病（1型糖尿病：インスリンがごく少量しか分泌されないか、あるいは全く分泌されないタイプの糖尿病）の人
 - ・肝臓または腎臓に重篤な障害のある人
 - ・重い感染症にかかっている人、最近手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人
 - ・下痢、嘔吐（おうと）などの胃腸障害のある人
 - ・過去にグリクラジド錠「NP」に含まれる成分やスルホニルウレア系経口血糖降下剤で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・次のような低血糖を起こしやすい人
 - ・脳下垂体機能に異常のある人、副腎機能に異常のある人
 - ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人、衰弱している人
 - ・激しい筋肉運動をしている人
 - ・飲酒量が多い人
 - ・腎臓に障害のある人、血液透析を受けている人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は次のとおりです。

販売名		グリクラジド錠 20mg 「NP」		グリクラジド錠 40mg 「NP」	
飲む回数		1日1回	1日2回	1日1回	1日2回
一回量	開始量	2錠	1錠	1錠	半錠
	維持量	2～6錠	1～3錠	1～3錠	半～1.5錠
	最大量	8錠	4錠	4錠	2錠

・この薬は、通常、朝または朝・夕の食事の前または後に飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。(低血糖を起こすことがあります。)
指示された時間に飲み忘れたら、1回とばして次の指示された時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

・低血糖症状（お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下）があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、医師に連絡してください。

意識障害がない場合は、通常は砂糖を飲食してください。α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）を併用している場合は、ブドウ糖を飲食してください。なお、意識が薄れてきた場合は、ただちに医師に連絡してください。

・意識障害がある場合は、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・低血糖症状があらわれることがあります。高所作業や自動車などの運転中に低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。
- ・低血糖症状が認められるものの、意識障害がない場合は、通常は糖質を含む食品を飲食してください。α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）を併用している場合は、ブドウ糖を飲食してください。なお、意識が薄れてきた場合は、ただちに医師に連絡してください。
- ・低血糖症状やその対処法について、患者さんや家族の方は十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・この薬を使用中は、定期的に血糖や尿糖の検査が行われます。この薬を使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん、突然の高熱、寒気、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる
頭部	意識の低下
眼	白目が黄色くなる
口や喉	喉の痛み、吐き気
顔面	血の気が引く
胸部	お腹がすく
腹部	食欲不振
手・足	手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	グリクラジド錠 20mg 「NP」	グリクラジド錠 40mg 「NP」
形状	割線入り素錠 	割線入り素錠 
直径	6.5mm	6.6mm
厚さ	2.0mm	1.9mm
重さ	80mg	80mg
色	淡黄色	白色
識別コード	NP-121	NP-152

【この薬に含まれているのは？】

販売名	グリクラジド錠 20mg 「NP」	グリクラジド錠 40mg 「NP」
有効成分	グリクラジド	
添加物	クロスカルメロースナトリウム	
	結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、軽質無水ケイ酸、黄色三二酸化鉄	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ポビドン、ステアリン酸カルシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ニプロ株式会社 (<http://www.nipro.co.jp/>)

医薬品情報室

電話：0120-226-898

受付時間：9時～17時15分

（土、日、祝日、その他弊社休業日を除く）